

# 外国人住民の主体的な地域社会参加モデルの構築に向けた実践

代表者 地域デザインセンター

坂本文子

協力者 宇都宮市まちづくりセンター

安藤正知、株式会社きぼう国際外語学院

栗又由利子、

社会福祉法人とちぎYMCA福祉会

齋藤久昭、社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

塩澤達俊、

株式会社宇都宮コミュニティメディア

中村長司

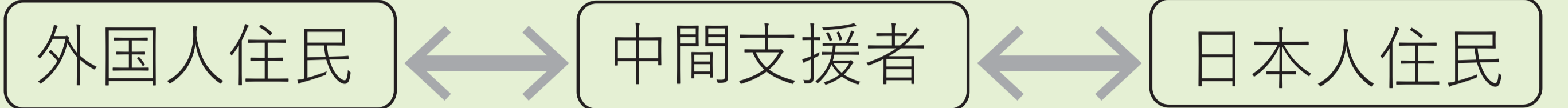
## ■ 研究の背景と目的

人口減少を背景にした外国人住民の増加が見込まれる一方で、近隣に住む外国人の暮らしは見えにくい。本研究の目的は、多文化共生社会の実現に向け、外国人住民の主体的な地域社会参加の場づくりを試行すると共に外国人住民の地域社会参加に必要な要因を明らかにする。

栃木県や宇都宮市を対象とした調査研究から、外国人住民は地域（日本人住民）と交流したいと考える者の割合が高い傾向にあること、日本人住民は外国人住民と共に暮らしやすい社会の実現にはあいさつなどから始めたらよいと思っていること、日本人住民は地域の外国人に対して困りごとの方が多く感じていることがわかっている。

(参考) 国土交通省国土計画局『北関東圏における多文化共生の地域づくりに向けて』平成19年3月  
宇都宮市『第2次宇都宮市国際化推進計画』平成26年3月  
栃木県産業労働慣行部国際課『地域国際化実態調査 報告書の概要』平成27年3月  
労働政策研究・研修機構『「第7回勤労生活に関する調査」結果』平成28年9月 など

## ■ 実践主体と役割



外国人住民 比較的日本居住期間が長く地域社会への参加を希望する外国人。

中間支援者 普段必ずしも外国人を専門としない中間支援者。地域の外国人と日本人をつなぐ。(研究協力者)

日本人住民 地域で活動する日本人。普段の活動の運営側に外国人が参加できるのかを検討。

## ■ 地域の未来像



外国人住民が主体的に地域社会に関わるきっかけをつくる。

日本人と外国人が課題を解決できるコミュニティのモデルが形成される。

モデルから手法を抽出し仕組みや制度が確立される。

## 1. 中間支援者 WS

第1回 2017年6月20日 中間支援者による意見交換・情報交換

第2回 2017年7月18日 中間支援者による意見交換・情報交換

- ・日本人は外国人とのコミュニケーションをとった経験に乏しい。まずは体験が重要である。
- ・「イベント」と「地域活動」では、「交流」のやり方や意味が異なる。本プロジェクトでは、外国人住民が支援される側ではない形態で地域社会へ参加できる交流のあり方を検討すべきである。

実践的目標：外国人住民が主体的に地域コミュニティに関わる場をつくと同時に、外国人住民と地域コミュニティをつなぐ「介在者」を育成する。

研究的目標：実践過程における観察から、外国人住民が主体的に地域社会へ参加するために必要な言語的、心理的、制度的要因を明らかにする。

## 2. 地域活動視察（日本人住民）

第3回 2017年9月26日 地域活動団体視察

月1回、自治会公民館で地域の居場所づくりとして、講座、ダンス、食事会などさまざまな活動を行う。



## 3. 外国人住民・中間支援者 WS

第4回 2017年11月8日 外国人住民と中間支援者による意見交換  
ワークショップテーマ：地域の居場所で実施するプログラムを「3つのポイント」を加味して考える。



- 「3つのポイント」
- ① 地域でやってみたいこと
  - ② 地域の人が参加しやすくなるための工夫
  - ③ 課題解決を図れる関係づくりのための工夫

- ① やさしい日本語の勉強、料理交流、折り紙、盆踊り、など
- ② 子どものしつけに関する交流、子どもの交流を介した親同士の交流、スポーツ、料理などを通じた日本語学習、体験教室・講座、など。
- ③ 遠慮せずに「助けて」と言える関係づくり、お茶とケーキを食べながら話す、まずはあいさつが大切！朝家を出て仕事して夜帰ってくるので地域の人と関われない、など。

## 5. 成果と課題

外国人住民と日本人住民の協働のイメージが共有され、取組への意欲が醸成された。ただし、実施に至るには継続的な中間支援の必要がある。

## 4. 日本人・外国人住民・中間支援者 WS

第5回 2018年2月14日 日本人住民と外国人住民による意見交換

ワークショップテーマ：外国人住民と日本人住民と一緒に実施する仮想のプログラム企画を「3つのポイント」を加味して考える。



<Aグループ>

- ① 「タイマッサージ講座&お茶会」
- ② 歩いてこられる公民館で開催する、回覧板で周知する、働く外国人も参加できるように週末に設定する、など。
- ③ 回覧板が回らない外国人もいるので国際交流会を通じて外国人住民にも周知する、など。

<Bグループ>

- ① 「避難訓練」
- ② バーベキューを取り入れる、費用は自治会費でまかなう、など。
- ③ 国籍や年齢に関係なく集まれる場をつくり相互の学びの場にする、外国人が関係する大学や派遣会社などの企業の協力を基に連絡網を作成する、など。

## ■ 対象地域の概要

宇都宮市の人口	522,924人
外国人住民人口	7,276人 (人口比 1.4%)
(K地区)	414人 (外国人人口比 5.7%)

(平成30年1月末現在、出典：宇都宮市提供データ)

外国人住民参加者属性  
70代女性日系ブラジル人、70代男性日系ブラジル人、60代女性日系ブラジル人、60代女性タイ人、30代女性タイ人、30代女性中国人、20代男性日系ブラジル人